

経営比較分析表（平成28年度決算）

長崎県長崎県病院企業団 対馬病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|-------|---------|---------|---------------|------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 200床以上～300床未満 | 学術・研究機関出身 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 25 | - | ド透未訓ガ | 救臨が感へ災輸 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| - | 19,812 | 非該当 | 10:1 | |

| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| 222 | - | 4 |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| 45 | 4 | 275 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| 222 | - | 222 |

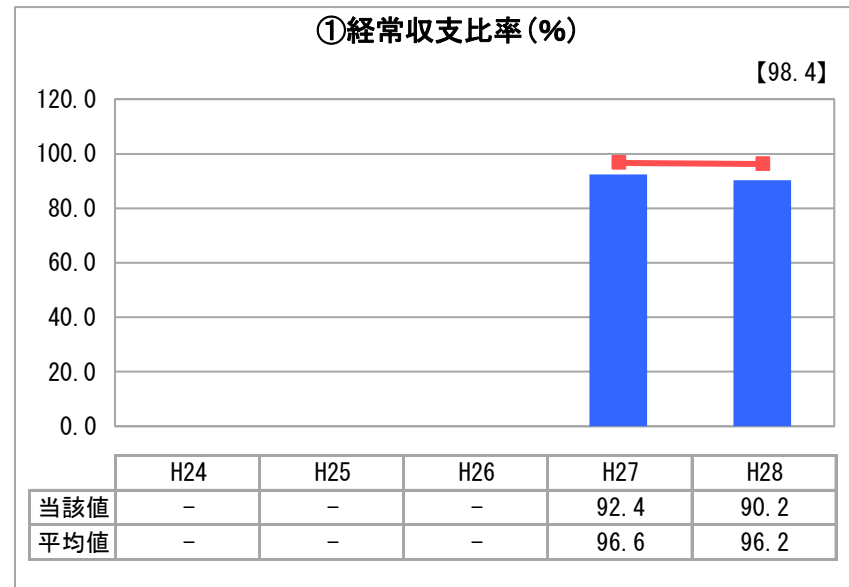
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

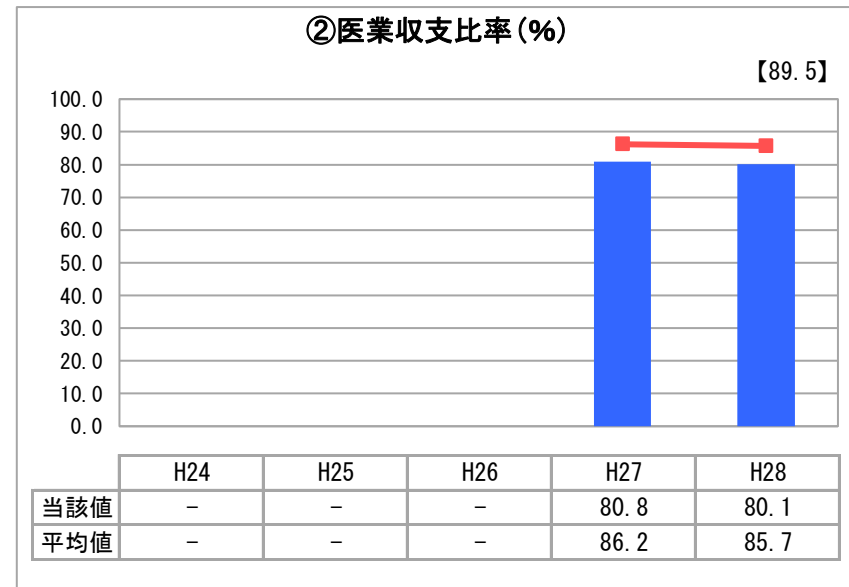
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

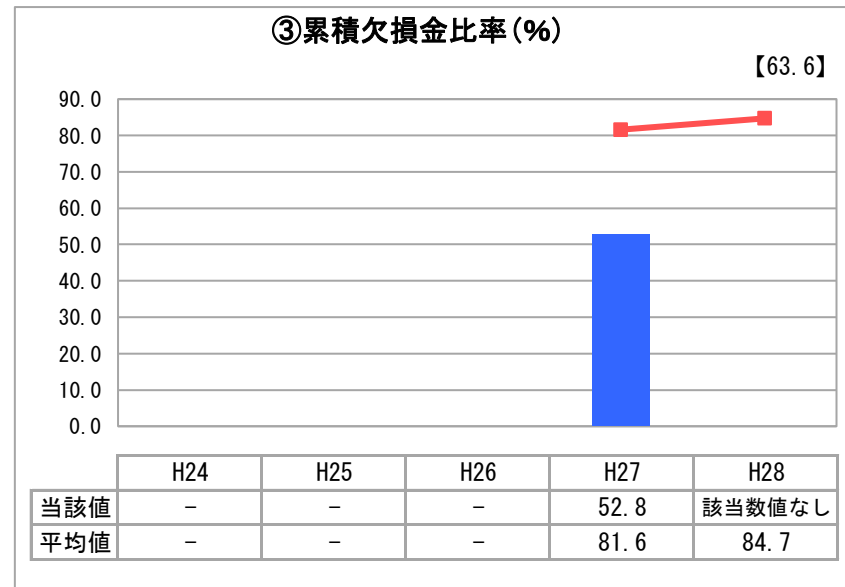
1. 経営の健全性・効率性



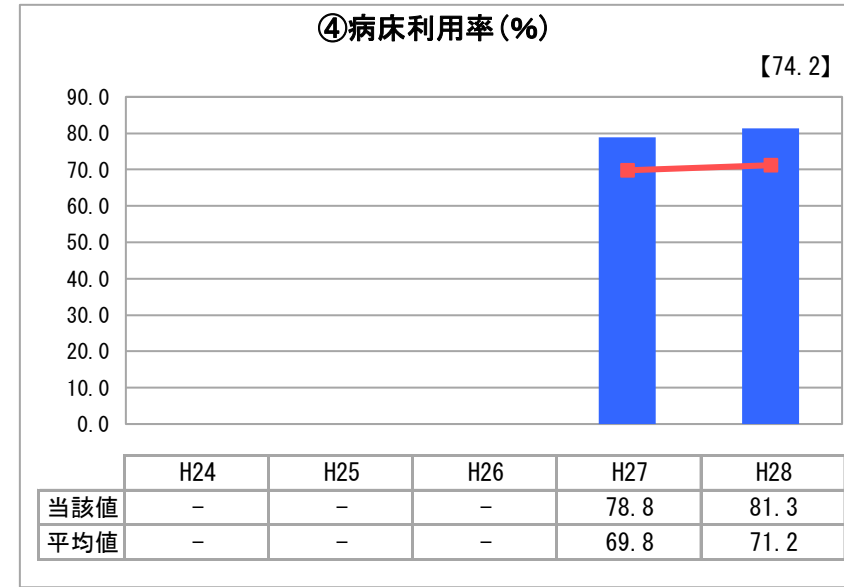
「経常損益」



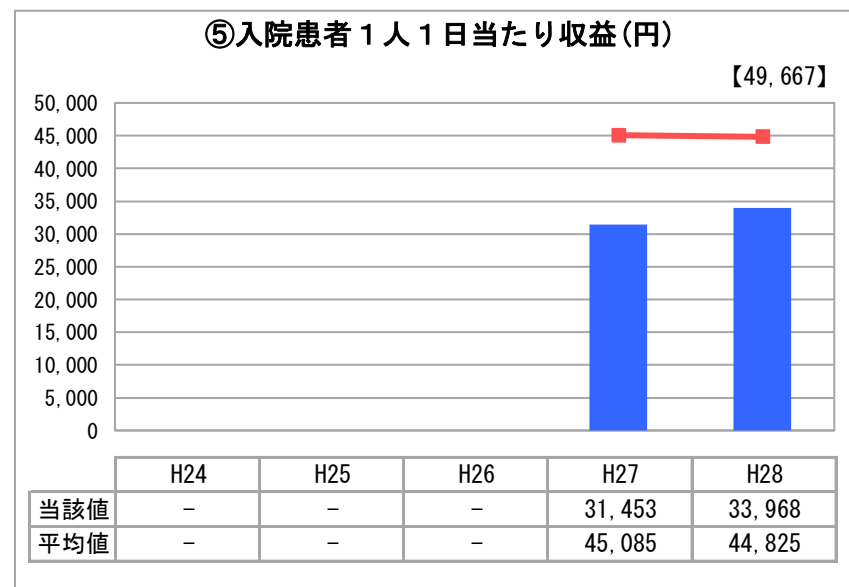
「医業損益」



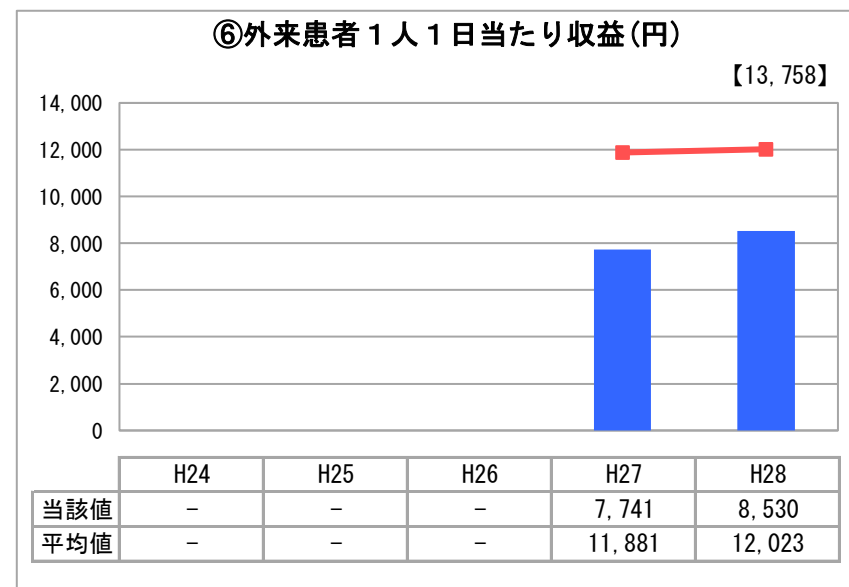
「累積欠損」



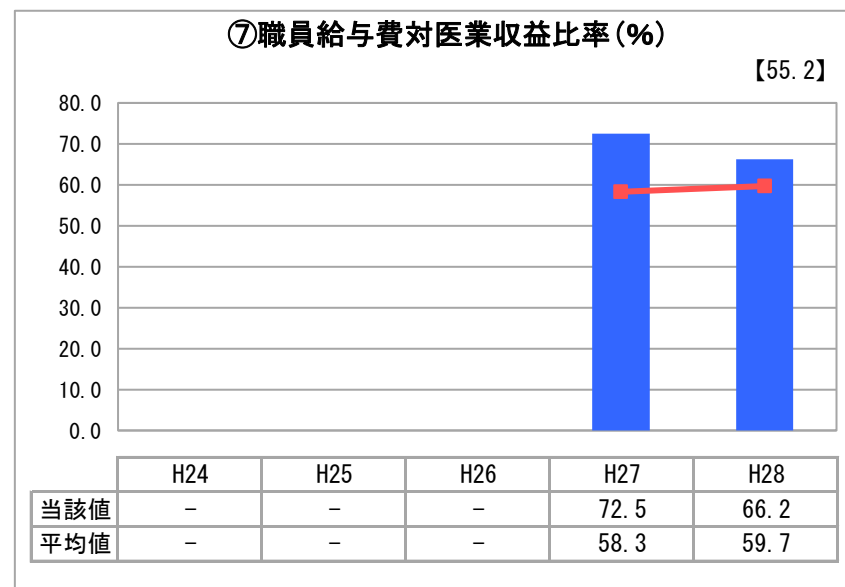
「施設の効率性」



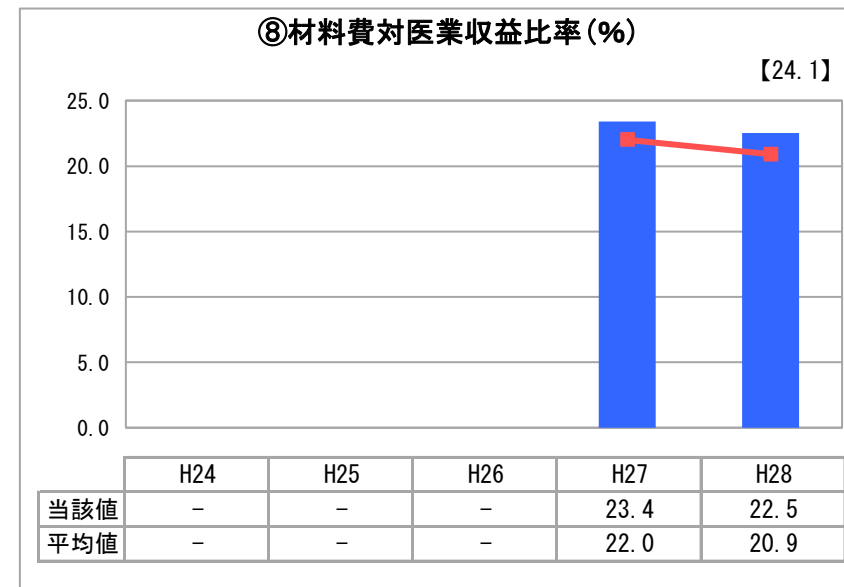
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

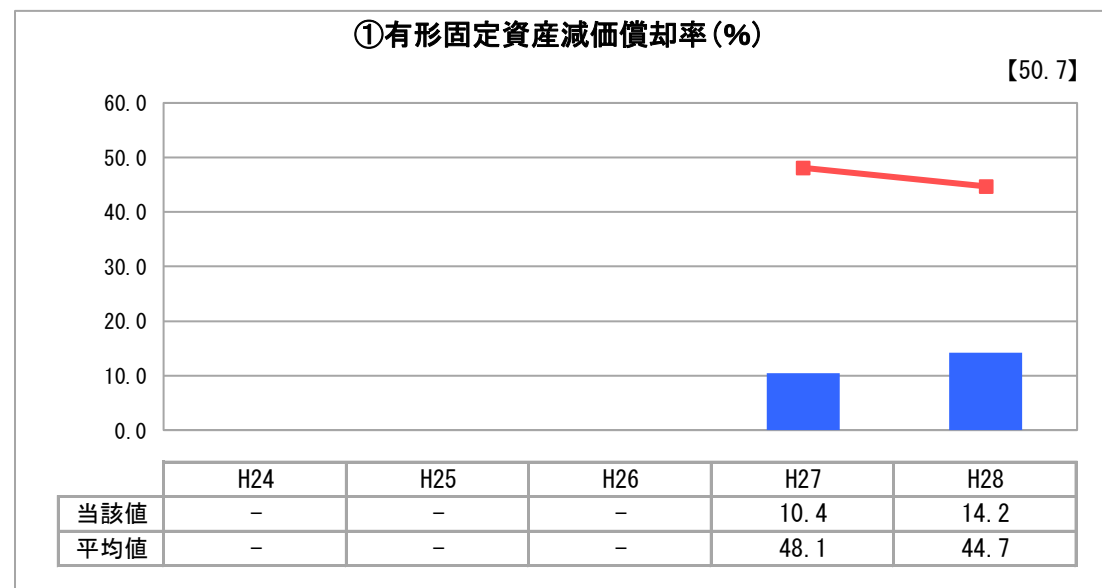


「費用の効率性①」

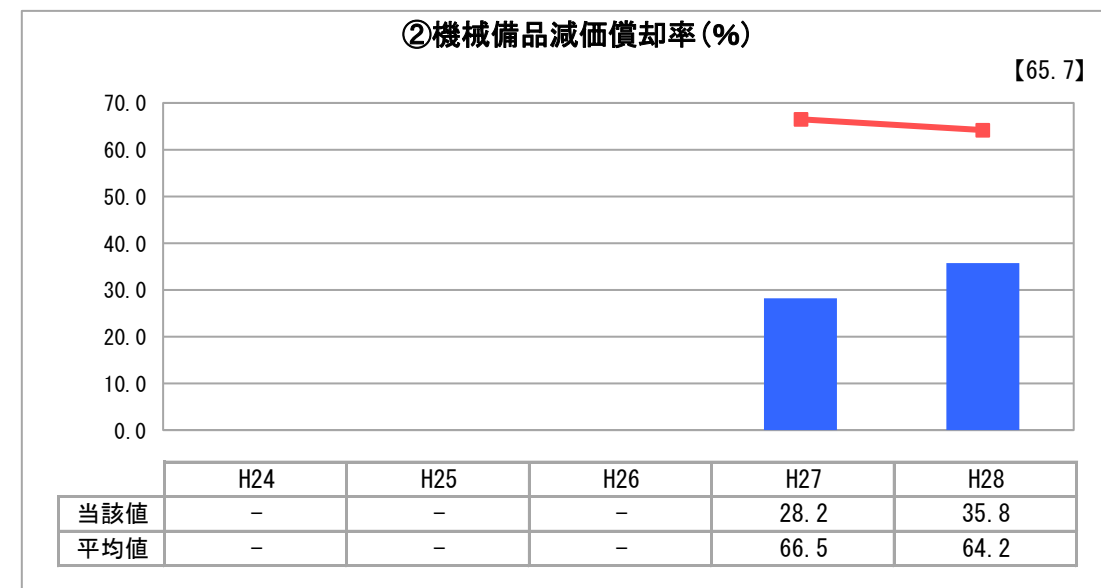


「費用の効率性②」

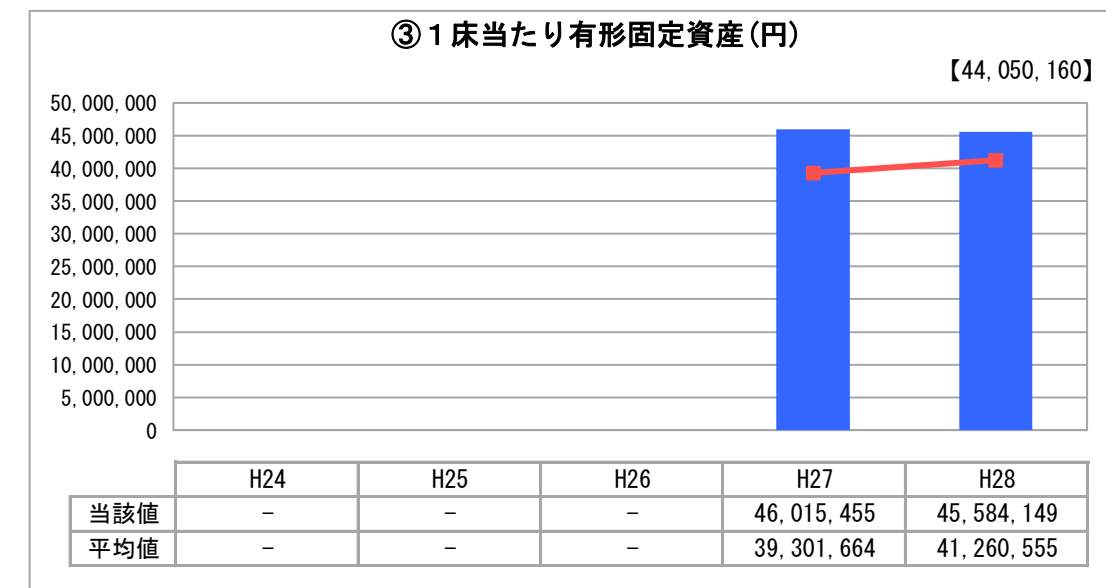
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

対馬医療圏の中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療など質の高い島内完結型医療を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医業収支比率、入院患者1人1日当たり収益、外来患者1人1日当たり収益とも類似病院平均より低い状況。材料費対医業収益比率は類似病院平均を上回り、職員給与費対医業収益比率は、類似病院平均よりかなり高い状況。今後は、増収対策を講じる必要がある。

2. 老朽化の状況について

将来的な施設更新の必要性を表す有形固定資産減価償却率が類似病院平均を大きく下回っているのは、当院が平成27年5月に新築開院したことによる。機械備品も同様である。

全体総括

人口減少が著しく、少子・高齢化も急速に進行する中、患者の島外流出も拡大しているため、今後の医療需給等を見極め、可能な限り島内完結できる医療体制の充実に努めるように取り組んでいく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。